

富山神通ライオンズクラブスローガン
『奉仕と友愛で築こう未来につながる豊かな環境』

ライオンズクラブ国際協会モットー

『ウィ・サーヴ』

ライオンズクラブ国際会長テーマ

『奉仕で奇跡を』

334複合地区スローガン

『温故知新』革新への挑戦

334-D地区スローガン

『友愛と歓びの奉仕でつくる元気なひとまちそしてみどり』



会長挨拶

半期を終えて

富山神通ライオンズクラブ
会長 L 吉田 誠



伝統ある富山神通ライオンズクラブのCN40周年会長の承認をいただき、身の引き締まる思いで拝命し早いもので半期を終えようとしています。若井幹事、笹畑会計の協力の元で今期の内容について検討した結果、スローガンは「奉仕と友愛で築こう未来につながる豊かな環境」とし、様々な事業を計画しました。

中でも40周年事業の一環と位置づけ、心身障害者の社会復帰を促す環境づくりにと企画した野外訓練施設整備事業は、1R2Zの全クラブの賛同を得、7クラブ共同アクティビティとしてLCIFに援助交付金を申請、この度75,000ドルの交付金を受けることが出来ました。これも田中俊夫CN40周年大会委員長を始め、皆様の協力のおかげであり感謝に耐えません。しかし事業はこれからが本番です。私自身も一生懸命クラブの為に頑張りますので、皆様方のより一層のご協力とご指導を頂ければ幸いです。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。



THE JINZU L I O N S
70

富山神通ライオンズクラブ会報
発行所 / 富山市桜木町10-10 富山第ホテル5F 富山神通LCPR委員会

2009
1月号
2月5日発行

松川べり清掃

7/20



「上半期の活動を終えて」アルミ缶回収作業について

市民・社会奉仕委員長 L 田中 勝利

今回、CN40周年の市民・社会奉仕委員長に任命されて半期が過ぎました。

アルミ缶回収作業での目標額を30万円としましたが、正直「できるのか、大丈夫なのか」不安でした。しかし、やれることは何でもやってみようと思えました。

まず、前年度もお世話になった北陸コカコーラボトリングでの回収作業回数を多くし、会員の皆様にも例会のときにはブルタブを持ってきて頂きました。

7月4日に1回目の回収作業をはじめ、計12回の回収作業を行いました。

10月の中旬ごろまでは、誠に順調にいていまして、10月20日以降急にアルミス

チール缶の引き取り単価が、今までの3分の1になってしまい目標額を達成することが、難しくなりました。

しかし、今回も、たくさんの方の御見の様に回収作業に、ご協力頂き心から感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

下期も会員のみなさまご指導の程宜しくお願い致します。

北日本新聞 平成20年7月23日

奉仕資金へ分別活動

富山神通ライオンズクラブ(吉田誠会長)のメンバー十三人が二十二日、富山市茶屋町の北陸コカコーラボトリング富山支社でアルミ缶やスティール缶などの分別活動に汗を流した。

強い日差しの中、メンバーはアルミ缶とスティール缶、ペットボトルを分別。缶に残ったジュースを捨てたり、タバコの吸い殻を取り除いた

アルミ缶回収



分別作業をする富山神通ライオンズクラブのメンバー

ら自動販売機のみ箱から回収したアルミ缶やペットボトルの提供を受け、分別してリサイクル業者に売却している。



故ふる(きを温(たず)ね

L 淵野 弘光

神通LCCが他クラブより注目を集め、一目を置かれている存在には、先輩諸兄の並々ならぬ努力を忘れてはならない。

40周年を迎えるにあたり、継続事業を調べているうち「松川辺清掃と鯉の放流」は36年前から、「五百羅漢清掃・早朝例会」は32年、「浮田家清掃」は26年前から継続していることが判った。

特に毎年八月、長慶寺本堂で早朝より座禅、早朝例会、暖かい蕎麦粥を戴き、五百羅漢の清掃奉仕を行っているが、始まった経緯が不透明になってきたので、当時のことを谷内ご住職に聞く機会を得た。記録によると32年前石坂会長の時からお世話になっているようですが、「もうそんなに経ちましたか。確かあの時、4、5人でお願ひに見えましたね。当時、案内板の設置やら、折り畳みテントの寄贈などとして戴いて重宝しています。春夏の尊者まつりの際はまだまだ足りなくて借りたりしていますからね。」

入り口前の石碑、神通ライオンズクラブが20年前に協力して

いるようですが、「そうそう金谷さんの奥さんが一生懸命になられたら、裏側にネスクラブの名前が彫ってあります。」

月日が経つと、クラブ員も知らない人が多いのではないかと思われる。又、毎年利用させて頂いている本堂も、昭和二年に古い建物を移築したもので、かなり老朽化が進み、このままでは危険な状態で、早急に取り壊しの必要性があるが、檀家のない寺で思慮中との由。

当クラブとの接点も、年に一度のしかも早朝、短時間での清掃のみにとどまらず、何かこの辺で一考を要するように思われる。

羅漢さまと共に、澄んだ秋空の立山連峰の眺望も格別の風情。たまには足を運んでみてはいかがでしょうか。

早朝例会

8/1



不許葦酒入山門

くんしゅさんもんに入るを許さず
裏面 昭和六十三年三月
大村 孝弘
大村 信之
富山神通ライオンズクラブ

長慶寺清掃奉仕

8/1



五百羅漢の周りに生えている草を刈る参加者



富山大空襲があった一日を前に約三十年前から続けている。同クラブの会員とその家族合わせて約六十人が参加した。参加者は寺で心静かに座禅を組んだ後、市指

五百羅漢の周囲すっきり

富山神通ライオンズクラブ(吉田誠会長)は一日、五百羅漢がある富山市五種の長慶寺(谷内良夫住職)で清掃活動を行った。



北日本新聞 平成20年8月2日



「違う文化楽しみたい」
富山神通ライオンズクラブ(少年受け入れ(YE)LC)の夏季茶臼井プログラムにより訪日したスロバキアのフイリップ・コハールさんや東京観光なども予(三)が八日、富山新聞社を訪れ、富山市の印象などについて話した。

ホストファミリーを務める富山神通LCの森田忠雄さんやYE担当理事の坂井博文さん、通

訳の水井秀幸さんが行った。コハールさんは大学で金融などを学んでおり、四日から十日まで富山神通LCのホストファミリーに滞在、能登半島も小さいうちに外国人に接して、国際的な体験させたいという理由でも、それが良い方向にいく場合とそうでない場合があり、家庭側に「ホームステイはこうあるべき」という意識が強く、来てくれた人よりも我が子のためにという発想が強いと、価値観が合わずに衝突したり、フラストレーションが溜まってトラブルに至るケースが多いようです。

富山新聞 平成20年8月9日

ホームステイを通して思う

富山神通ライオンズクラブ YE委員長 L 浅井 茂

神通LCの事ではありませんが、日本では最近、小さなお子さんのいる家庭が増えているようです。まだ子どもが小さいうちに外国人に接して、国際的な体験させたいという理由でも、それが良い方向にいく場合とそうでない場合があり、家庭側に「ホームステイはこうあるべき」という意識が強く、来てくれた人よりも我が子のためにという発想が強いと、価値観が合わずに衝突したり、フラストレーションが溜まってトラブルに至るケースが多いようです。

外国人の「理想像」や受け入れの「意義」にとらわれて、見がまえてしまう人が多いのかもしれないが、そのあたりの先入観や偏見をなくさないこと。相手の方が帰国するとき、「出会えてよかった」「楽しかった」という気持ちになれるかどうか、それが大切なような気がします。



納涼例会

8/21



薬物乱用防止パネル掲示

8/1~2

Jユースサッカー大会にて



9

月 献血運動

9/23

富山新聞 平成20年9月24日

物客に協力を呼び掛けた。会員ら約八十人が参加し、同店入り口付近でプラカードを掲げ、買い物客を献血車へ案内した。協力者には卵パックなどを渡したほか、会員自らも献血を行った。



富山神通LC 富山神通ライオンズクラブと県赤十字血液センターは二十三日、富山市婦中町下野田のファボーレで献血運動「写真」を行い、買い物客に

合同例会

9/18



「上半期の活動を終えて」

環境保全委員長 L 宮保 里嗣

環境保全委員長を仰せつかって半年、諸先輩にご助言をいただきながら、松川公園・長慶寺そして浮田家の清掃奉仕を無事実施することが出来ました。事故もなく無事終えた事は当クラブの会員の皆様及び多方面の方々のご協力の賜物と思えます。当事業を通じて体を使い奉仕することの大切さ、満足感を改めて実感しております。またほんの短い間ですが地域の皆様方との交流を持つ機会を得られたことに心から感謝します。

これからもLCの一員として積極的に参加して行きますので諸先輩のご指導を宜しくお願い致します。

「上半期の委員会

事業を振り返って」

レオクラブプログラム委員長 L 山田 昌彦

富山神通LCも今期、40周年を迎える節目の年に、レオクラブとしても活動の変化やレベルアップ、並びに会員意識の向上に重点を置くべきであると感じ、今期担当委員長として2本の柱を立てさせて頂きました。

一つ目は、「レオクラブの会員拡大」であります。ここ数年少数の個人会員の入退会者はある程度、会員数の変化はほとんど変わっておりません。そこで、当クラブ会員の永井Lを通じてご自身が指導されている空手教室（スポーツアカデミー富山倶楽部）の子供達10名を新入会員として向かえる事が出来ました。その際、近年行なわれていなかったレオクラブの例会を8月に開催し、当LCの例会と同様に入会式を行った事で、レオクラブ会員同士の意識も深まったのではないかと感じております。

二つ目は、これまでのようにレオ主体のアクティビティを親LCが用意周到に段取りするのではなく、レオ自らが奉仕する事の意義を理解し、その手段を企画運営していくと言う事です。今期その手始めに企画させて頂いたのが9月に行なった「レオによるフリーマーケット出店事業」であります。この事業には「物を大切にすることを養う」「コ

フリーマーケット

9/28



ミニニケーション力を養う」「奉仕の精神を養う」と言った、これからの子供達にとって大切な三つの学びがべき目的が含まれていました。今回初めての試みと言う事で、出品商品が集まるかどうか危惧していましたが、当LC18名の方々から53品を無償提供して頂いた事で、販売ブースも活気付き、子供達も初めての営業販売にじろもどろになりながらも、目を輝かせて「いらつしやいませ！」の声を張り上げていました。

この事業で得た収益金の一部を富山県善意銀行へ寄付し、天災による被災地復興支援や障害者支援などの一助を以つて、奉仕するとう事を感じることが出来たものと思っております。

「上半期の活動を終えて」

ライオンズクエスト青少年指導委員長 L 内山 祐治

ライオンズクエスト、思春期のライフスキル教育「プログラムとは、10〜15歳の青少年が、日常の困難を乗り越えたくましく生きるために役立つライフスキル（心の力）を育むプログラムです。学校の授業を通して、友人や家族とのよりよい人間関係づくりに必要なコミュニケーションスキルや感情のコントロールなど、具体的なスキルを学び、自分を大切に思う気持ち（自尊心）を高めることを狙いとしています。

富山市水橋中学校では平成19年3月から導入準備を進め、同年10月よりライフスキル教育を盛り込んだ年間指導計画に基づいてプログラムを実施しており、富山神通ライオンズクラブが正式な支援クラブとなりました。

平成20年度には中学校では地区内2番目のプログラムモデル校となり、6月23日の学校訪問研修会公開授業では6クラスがライフスキル学習を取り入れ、北陸地区のライオンズクラブの関係者32名の出席がありました。10月26日の同校授業参観では、すべてのクラスにてライフスキル学習を公開授業とし、平成21年1月16日には第2回公開授業（ライフスキル学習）の開催をいたしました。当クラブでは、今後も引き続き同校のライオンズクエスト「思春期のライフスキル」プログラム導入に支援をおこなってまいりますので皆様にはご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

企業献血

11/10

堀井鉄工様にて



浮田家清掃

10/4



新標示立看板設置

富山新聞
平成20年10月5日



浮田家を清掃
富山神通して
富山神通ライオンズクラブ（吉田誠会長）は四日、富山市太田町の国指定重要文化財「浮田家」で清掃奉仕活動。写真に写っているのは、地元の名所をきれいにするため、今年で二十六年目となった。

同クラブと下部組織の富山神通レオクラブ、太田校下長寿会連合会の会員合わせて約六十人が参加した。参加者は草刈り機やかまを持って、庭園や周辺の除草に汗を流し、二時間かけて約四十回回収した。

清掃は浮田家を訪れる人に気持ちよく見学してもらうために毎年行われており、今年で二十六年目となった。



大きなイモ掘ったよ

富山神通ライオンズクラブ（吉田誠会長）は七日、富山市桑原（大山）の畑で、県立富山学校の児童らを迎えたサツマイモ掘りを行った。

同校の幼稚園と小学部の九人と教員らが同所の岡本武勇さん宅の畑を訪れ、クラブのメンバーと一緒に土の中からサツマイモを掘り出した。子どもたちは大きなサツマイモを手に見て喜んでいた。

サツマイモ掘りは、同校の子どもたちに収穫の楽しさを肌で感じてもらうと、同クラブの幹事だった岡本さんの発案で毎年行い、二十回目。サツマイモの苗は同校の児童らが五月に植え、岡本さんが育ててきた。

北日本新聞
平成20年10月8日

CN40周年記念事業

「CN40周年記念事業について」
CN40周年大会委員長 L 田中 俊夫

21世紀に入り時代が変化しても、奉仕という崇高な精神はライオンズが守るべき核心价值として、変わらずありつづけています。我々はその基本理念を大切に、地域社会に意義ある奉仕を実践していかなければならないと思えます。

富山神通ライオンズクラブは1968年創立（1969年5月10日認証）し、今期で40周年を迎えました。この40年間は奉仕活動に熱い情熱を注ぎ、喜び、感動し、ライオンズ精神を伝承してきた多くの先輩諸兄一人ひとりの歴史が積み重ねられたものです。そして先輩諸兄の思いは今我々と共にあり、次世代へと継承されていくものと思います。

富山神通ライオンズクラブは40周年記念事業として、富山市呉羽丘陵において心身障害者訓練整備事業を開始しました。本事業についてはLCIF一般援助交付金75,000ドルを田谷地区ガバナ、米山副地区ガバナの承認を得て2008年7月に国際協会へ申請してありましたが、同年10月29日から11月3日にハワイ、マウイ島で開催された国際理事会の決議において、承認を得ることができました。

この援助交付金を申請し、承認に至る迄の間、ガバナ、副地区ガバナ、名誉顧問、及びキヤピネット役員各位、並びに福井中央ライオンズクラブ各位の適切なご指導を頂き、さらには他の多くの方々のご協力も頂きました。大会委員長として、深く感謝を申し上げます。

記念事業は2009年3月まで実施されます。吉田会長、若井幹事、笹畑会計を中心として、心身障害者訓練整備事業を完成させるために、各メンバーのさらなるご協力をお願い申し上げます。

CN40周年環境整備アイバンク
チャリティゴルフ大会を終えて

チャリティゴルフ事業委員長
L 宮崎 忠一



「CN40周年環境整備アイバンクチャリティゴルフ大会を終えて」

準備期間約4ヶ月。その間、実施日が二転三転と決まらず、後日10月16日（木）に決定ということを決意し、吉田会長から聞かされ、その日程に合わせて、例年終了後の運営会議を2回くらい行なったが、なかなか前に進めませんでした。

組織図（チャリティゴルフ）各部門の総括責任者の方々に集まっていたいただき、参加者の人数の目標を立てることになりました。

その目標は、当初設定した160名から180名に増やし対応していくことになりました。ところが、運営会議の最終日の席上、ものすごい数の応募者があつたことが報告され、各責任者やメンバーの汗を感じました。当日の大会も大成功に終わり、誠にありがとうございました。

チャリティゴルフ大会参加者214名、（懇親会のみ4名）

参加された他クラブのライオンの方から「さすがに神通ライオンズクラブですね！」と言われ、大変嬉しく思いました。組み合わせの作成から決定まで、参加者への発送を永井副委員長、中田（正）副委員長、他6名の総括責任者の方々に心から感謝申し上げます。

エイズ撲滅
キャンペーン

12/1

北日本新聞 平成20年12月2日

**通勤・通学客に
エイズ予防訴え**
富山神通ライオンズクラブ（吉田誠会長）と富山市保健所（瀧沢所長）は、1日、JR富山駅前でエイズ予防キャンペーンを行った。
十二月一日の世界エイズデーに合わせ、エイズについての正しい知識の普及と、差別や偏見のない社会づくりを旨とし、毎年合同で実施している。



メンバーと職員計二百五十人が参加し、通勤・通学客らに富山市保健所でのエイズ相談・検査窓口を記載したディスプレイ（ポスター）を配った。

「富山神通LCに入会して」
L 谷山 功司
平成20年4月に東京からエターンで富山に移りました。45歳にして再スタートをするにあたり、先輩の勧めもあり、入会させていただきました。予想を超えた皆様の強い結束力と仲間意識にとても感動しております！
これまで社会奉仕には興味がありましたが、実際奉仕活動をしたことがない小生には、とても新鮮かつ爽やかな居場所となっております。
本業のテーマでもありますが「住みやすさ日本一・富山でのまちづくり」に少しでも貢献できますようしっかりと汗をかいていきたいと存じます。

「クリスマス家族例会を終えて」
接待・XS委員長 L 谷川 弘
まずは、一言御礼申し上げます。皆様の御協力が無事クリスマス家族例会を終える事が出来ました。本当にありがとうございました。
記念すべきCN40周年の年に、初の接待クリスマス委員長を拝命したものの正直、重圧感を感じていました。頭の中にはとにかくCN40周年だから、中身の濃いものにした...こればかりが先走り、タイムスケジュール等何度も委員会で協議していました。
今回一番力を注いだのは富山県立盲学校中等部の藤縄佑樹君のピアノ演奏です。彼はクラブ行事の芋掘り等で小等部時代良く活躍もしていました。そんな彼の成長ぶりを是非今回皆様方にも知って頂き、参加されたお子さん方やレオメンバーに何か刺激や感動があれば良かったと感じています。
また、ライオンレディーの方々にも本当にお世話になりました。今回の演出依頼も気持ちよく受けていただき、フットワークの軽さに習う物があります。
結びに委員会のメンバーには心より感謝申し上げます。100%と言っても過言では無いくらい例会後の委員会には全員参加して頂きまた時には叱咤激励等も賜り久々にラ



12/18 クリスマス家族例会

「富山神通LCに入会して」
L 三澤 かおり
はじめまして。昨年7月に入会させて頂きました。(有)ミサワモーターの三澤かおりです。伝統ある富山神通ライオンズに入会するにあたり正直な所随分戸惑い不安で何度も何度も悩みました。
そして私の会社の社長(夫)にも理解がえられずケンカが絶えなかった日々もありました。そんな中、子供達3人のうち長女が中学生、長男が小学生とピカピカの一年生になり不安と期待でドキドキした気持ちでいる事を母親として知り、私は決心しました。「私も子供達同様、子供達と共に一年生になって頑張ってみよう」
そして、中学生になる娘に相談した所「ママがしたい事ならいいと思うよ。ガンバレ!!」と言ってくれ不安で一杯だった私は逆に子供から勇気を貰いました。入会式ではとても緊張しましたが今後のライオンズの活動に少しでもお役に立てる様、精進して参りたいと思っておりますので、諸先輩方のご指導を宜しくお願い致します。

「富山神通LCに入会して」
L 谷山 功司
平成20年4月に東京からエターンで富山に移りました。45歳にして再スタートをするにあたり、先輩の勧めもあり、入会させていただきました。予想を超えた皆様の強い結束力と仲間意識にとても感動しております！
これまで社会奉仕には興味がありましたが、実際奉仕活動をしたことがない小生には、とても新鮮かつ爽やかな居場所となっております。
本業のテーマでもありますが「住みやすさ日本一・富山でのまちづくり」に少しでも貢献できますようしっかりと汗をかいていきたいと存じます。



12/18 クリスマス家族例会



新入会員の皆さん

PR会報委員長として
L 奥田 一宏
PR委員長として半年、会報の編集に携わって今更ながらにクラブの活動の多さに驚いています。そして写真の整理をしながら感じたのは多くのアクティビティに参加された会員諸氏の汗と情熱でした。
さて、CN40周年事業もこれからが第一番を迎えます。PR委員会も精一杯つとめますので、今後も皆さんよろしくご指導ください。

富山神通ライオンズクラブ(2008.7~12)出席状況

日	会員数	出席者	出席率	内容
7月3日	93名	74名	80%	例会
7月17日	93名	72名	77%	例会
7月20日	93名	34名	37%	松川ベリ清掃奉仕(全員アクティビティ)
8月1日	93名	66名	71%	早朝例会・長慶寺清掃(全員アクティビティ)
8月21日	93名	69名	74%	納涼例会(千里山荘)
9月4日	93名	66名	71%	例会
9月18日	93名	70名	75%	セントラル・神通・西合同例会(ボルフアート)
9月23日	93名	31名	33%	献血運動・ファボーレ(全員アクティビティ)
10月2日	93名	65名	70%	例会
10月4日	93名	29名	31%	浮田家清掃(全員アクティビティ)
10月16日	93名	42名	45%	環境整備・アイビク・チャリティゴルフ大会(富山CC)
10月27日	93名	70名	75%	神通・大山・昭和合同例会(名鉄ホテル)
11月6日	93名	66名	71%	例会
11月20日	93名	72名	77%	100%例会
12月1日	93名	26名	28%	エイズ予防呼び掛け(全員アクティビティ)
12月4日	93名	65名	70%	例会
12月18日	93名	76名	82%	XS家族例会(ボルフアートとやま)

出席委員長 L 宮崎崎一

編集後記